

令和4年度群馬県委託業務表彰の受賞者一覧

県土整備部長表彰

NO.	分野別	受託業者		委託業務名	路河川名 箇所名	発注所属	評価ポイント
		会社名	管理技術者				
1	道路・街路	(株)高崎測量 代表取締役社長 和田 隆	宇佐美 玄武	社会資本総合整備（防災・安全） （交安・重点） 測量設計（修正）業務委託	一般県道 井野停車場線 高崎市井野町 地内	高崎土木	当初計画では、走行性や渋滞解消に特化していたため、沿道地権者の合意が得られなかった。そのため本業務において、沿道地権者と道路利用者の相反するニーズの両立を目指した。具体的には、道路線形の工夫や歩道幅員縮小規定の採用により民地への影響を最小限にとどめる一方、歩車道の分離と自転車走行への配慮により車両走行性を確保した。また、工事中の民地への影響や完成後の走行シミュレーションを動画により可視化するなど、他の模範となる優れた説明資料を作成した。
2	河川	(株)富永調査事務所 代表取締役 富永 伸樹	猿井 清貴	社会資本総合整備(防災・安全) (5か年) 測量及び護岸詳細設計業務委託	(一) 鍋川 中島地区 高崎市吉井町中島 地先	高崎土木	令和元年東日本台風で被災した箇所の堤防高上げの詳細設計業務。市による排水ポンプ計画などの内水対策との整合を図るため、協議・調整を積極的かつ迅速に行うことにより、優れた設計を行った。また、地盤特性の整理や、台風時の降雨量及び水位波形をグラフ化した浸透流解析、堤体材料として望ましい土質の検討など堤防の安全性の照査を行い、優れた成果を取りまとめた。
3	橋梁	(株)長大 群馬営業所 所長 高橋 洋介	富田 克彦	社会資本総合整備 (防災・安全社会資本整備交付金) (仮称)湯ノ入橋 橋梁詳細設計業務委託	一級河川 碓氷川 安中市宿 地先	安中土木	予備設計の4径間案について、橋脚支持層がスレーキング泥岩であること、施工時の開削・仮設工が大規模になること、流心部への橋脚設置により流速増・偏流による洗堀の可能性があること等の問題を提起した。これらの不確実性を低減するとともに、桁高制限等の条件もクリアする3径間案を提案した。また、発注時・施工時に問題が生じないよう精度の高い施工計画を作成した。下部工では、施工時の騒音検討や複数ケースの工程表の作成により施工段階の課題に配慮するとともに、上部工では、3次元モデルを作成し部材とクレーンアームの干渉を確認するなど緻密な検討を行った。
4	砂防	関東測量(株) 代表取締役 伊藤 成樹	久保 晴央	特定緊急砂防事業 測量設計・渓流保全工詳細設計	(吾) 女塩淵沢 吾妻郡 嬭恋村大字田代 地先	中之条土木	令和元年東日本台風による土石流で人家及び旅館が被災した渓流で、被災直後から現地に入り、河川・道路・地下埋設物など多岐にわたる関係機関との協議・調整を積極的に進め、施工性や経済性について検討を行い、早期復旧が可能な優れた設計を迅速かつ的確に行った。
5	橋梁	大日本コンサルタント(株) 群馬営業所 所長 村瀬 良成	高橋 昇一郎	道路改築事業（地方道・大規模更新） 橋梁詳細設計業務委託	(一) 戸鹿野下之町線 戸鹿野橋工区 沼田市新町 外 地内	沼田土木	国道17号と一級河川利根川が近接しており、狭隘な場所での国道の切り直しや嵩上げを、利根川の施工時流量を考慮しつつ工期短縮も図る綿密な施工計画の策定が求められる難易度の高い橋梁及び道路等の設計業務であるが、既成概念にとらわれず検討を行い、国道嵩上げに仮設補強土壁を採用するなど、現場条件に即した施工計画を提案した。また、橋梁設計では下路アーチ橋の損傷事例を検証し、RC床版とアーチリブの境界部の耐久性向上策の提案やアーチリブの疲労に対する耐久性やせん断遅れによる応力集中の影響を検討するため3次元FEM解析を実施し、疲労耐久性を満足することを確認し成果を取りまとめた。
6	橋梁	(株)オリエンタルコンサルタンツ 群馬事務所 群馬事務所長 福重 辰二	大内 隆志	単独道路改築事業 橋梁予備設計業務委託	(国) 122号 塩原バイパス みどり市大間々下神梅 外 地内	桐生土木	一般国道122号渡良瀬幹線道路（塩原工区）の、地形が急峻で一級河川渡良瀬川とわたらせ渓谷鐵道が近接する最も厳しい制約条件下で、最適な橋梁設計を行った。また、広域的な観点で工事用道路を計画するなど、施工計画を十分検討して橋梁形式を選定するとともに、CIMモデルの活用や道路線形を変更するなど、大胆な改善提案を積極的に行った。
7	橋梁	大日本コンサルタント(株) 群馬営業所 所長 村瀬 良成	安川 仁敏	道路改築事業（国道・連携） (仮称) 奥田川橋詳細設計業務	(国) 353号 上信自動車道 吾妻東バイパス2期 吾妻郡 東吾妻町大字奥田 地内	上信自動車道	ドローンで撮影した映像を用いて視点場と眺望対象物を整理し、周辺環境に配慮したデザインコンセプトの提案や、CIMモデルを活用し上部工の変断面化、桁高存在感の低減策、橋脚柱の多角形化等の検討を行った。渡河部の上部工架設計画では、河川内の仮設構造物を不要とした大幅なコスト削減・工期短縮と治水安全度の向上を図った。また、本橋の「床版取替要領(案)」の作成、床版取替時に必要な部材の控え材や仕口の計画及び設計、点検方法や点検時の交通規制方法及び安全対策等をまとめた「奥田川橋点検要領(案)」を作成し、優れた維持管理計画を策定した。